

令和3年度 武蔵野市地域自立支援協議会全体会（第2回）

グループディスカッション ワークシート

グループ名： B

【テーマ】「武蔵野市の地域課題の解決に向けた協働の在り方について
～新たな部会での活動を通して～」

テーマ1-1：課題の共有

「各部会の活動報告を受けて」

- ・ 自立支援協議会でスキルや知識の共有のため、研修会等を催してもよいのではないかな。
- ・ 最近はコロナウイルスの影響で模擬選挙や、毎年開催していた「あったかまつり」も延期となり、皆で顔を合わせる機会が少ないのはとても残念である。
- ・ 当事者部会が皆の居場所だったのに、集まることができないのが残念。自分の障害者であるアイデンティティや、一市民であるという実感が減っていく気持ちである。コンパクトな規模だからこそ、といったような武蔵野市の良さ、武蔵野市らしさ、といったことを考えさせられる1年だった。

テーマ1-2：課題の共有

「武蔵野市の地域課題とはなんだろう」

- ・ それぞれのライフステージについて考えさせられる。子どもの分野となると福祉の分野だけでは解決できない問題がある。学業などについても考えさせられる。それぞれの環境に応じて対応していかなければならない。
- ・ 支援学校の子どもたちが放課後等デイサービスのようなサービスを探すことも課題となっている。
- ・ バスを利用している中で、健常者にだけ便利な形になっていると感じる。弱視や盲ろう、車いすなどの利用者が不便に感じる点が多い。割引制度などは充実しているが、ハード面では乗りづらさがある。

テーマ2：目標設定

「テーマ1-2で共有した地域課題の解決に向けて、新たな部会での活動を通して活動できること・協力できることはなんだろう」

- ・ 自立支援協議会の役割や機能をもっと広く知っていただくことが大切なのではないかな。
- ・ 福祉関係者がどのように自立支援協議会に参加していくか考えることも大切である。
- ・ コロナ禍ではコミュニケーションや会える事による安心感が大切。Web等の利用で会える機会や方法を考えていく。